

3.11と フェアトレード

東日本大震災から5年。「もう」ですか?「まだ」ですか?
フェアトレードと被災地支援に関する講座と交流を通じ、
「共に生きる」ことについて、一緒に考えてみませんか?

日時 2016年5月28日(土)

13:30~16:00

会場 あいち国際プラザ 2階

アイリスルーム

参加費 500円(資料・コーヒー・菓子代)



13:30 開会

13:35 講演 土屋春代氏(ネパリ・バザーロ代表)

『日本とネパール、二つの大震災に向き合って
～フェアトレードだからできたこと～』

15:00 交流タイム 参加者同士、お話しよう♪

15:15 休憩 フェアトレードコーヒー&お菓子をたのしもう 

15:30 質問タイム 講師へ質問、もっと知ろう!

16:00 閉会



お申し込み方法はウラへ 



申込方法／先着順

※参加をお断りする場合のみご連絡します。

①お名前 ②所属(あれば) ③電話番号 ④メールアドレス
をご記入の上、メールまたはFAXにて、下記 [問合せ先] まで
お申込ください。

定員 : 50名

★当日は、マイカップをご持参ください★



土屋春代氏(ネパリ・バザー代表)

ネパールの子供達の厳しい状況を知り教育支援活動を始めたが、深刻な貧困問題に直面。仕事を創ろうと1992年ネパリ・バザーを設立、貿易開始。2011年3月の震災後、被災地支援を続け、地域の人々と連携、その土地にある素材を活かし、椿油、コスメ、ワインなどを製品化し、それを軸に観光による交流人口増加と復興を目指す。2015年4月のネパール大地震では、ネパール現地との長年に亘り培った信頼関係、情報収集力を駆使し着実な支援を展開中。

★フェアトレード

開発途上国の人々が自立できるよう、対等なパートナーシップを築く貿易のこと。国際フェアトレード基準では、「長期的な安定した取引」、「安全な労働環境」、「環境に優しい農業」などといった認定基準が設けられており、その基準に達した商品を購入することは、児童労働などの「貧困」を断ち切り生産者の生活水準が保証されること、森林伐採などの環境破壊から地球を守ること、などにつながる。

★フェアトレード・タウン

役所、企業、お店、学校など地域社会全体で、フェアトレードへの関心と理解が深まるよう、人々がつながりながらその普及を継続して推進する自治体のこと。フェアトレード・タウンになることで、フェアトレードが更に広く浸透することや、一人ひとりの意識の高まりが期待できる。日本では、熊本市が2011年にアジア初のフェアトレード・タウンとなり、2015年、名古屋もフェアトレード・タウンとなった。

[問合せ先]

公益財団法人 愛知県国際交流協会
交流共生課 交流担当
〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-6-1
TEL : 052-961-7904
FAX : 052-961-8045
Eメール : koryu@aia.pref.aichi.jp

※ 講座当日、各種警報が発令された場合をはじめ、参加者に危険が生じると主催者が判断した場合は、講座を中止することがございます。開催可否の判断に迷われた場合は、上記問合せ先にご連絡ください。

